

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [千葉県立桜が丘特別支援学校] 担当教諭名 [石井 千晴] (中学部1-3年生 10名)
 相手国・地域 [ロシア]
 海外学校名 [Boarding School for children with visual impairment] 担当教諭名 [Anna Belokopytova]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト	25
	生活単元学習	アートマイルでロシアとつながろう	25

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	豊かな自然
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	自分たちが大人になっても残っていてほしいものは、国を超えて、共通しているものがある。青い空や、澄んだ川、たくさんの緑など自分たちの思い描く理想の自然やそれぞれの国のシンボル、そして地球全体を明るく照らしてくれる大きな太陽、これらすべてがいつまでもあり続けてくれることを願っている。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> SDGsや環境問題など、今まで知らなかった言葉や知識を生徒も教師も意識するようになった。 相手校とのやりとりはもちろん、本校の生徒同士のやりとりの中でも、自分の意見や思いをどうしたら相手にわかりやすく伝えられるかということを考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマ学習や壁画のテーマ決定など、相手校の生徒との実態に差があり、生徒ではなく教師が主になって取り組む場面が何度かあった。 フォーラムや Skype のチャットは有効に使えていたが、時差の影響もあり、複数回予定していたSkypeでのテレビ電話を、一度しか実施できなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ロシアについてほとんど知らなかった生徒が、ロシアについて興味をもつようになった。 相手とつながるために、自分から相手の母国語を調べたり、反対に日本のこんなことを伝えたいと考えたりするようになった。 世界の国と日本を比べる際、違いに着目するだけでなく、共通することにも目を向けるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手校の教師が本校の生徒を気にかけてくれたり、本校の教師も相手校の生徒の学習の様子を評価したりすることで、話す言葉は異なっても、生徒を育てる観点や気持ちは共通していると気付くことができた。 フォーラムや Skype の交流を通し、国際交流活動を身近に感じるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介カードの写真をフォーラムで共有する。 お互いの住んでいる国や地域についてカードや動画で紹介する。 	英語で表現することは難しいけれど、自分のことや千葉県のことを伝えたいという気持ちをもって取り組んでいた。交流校の友達を見て、今後の交流に期待を持ち始めた様子だった。	総合 生活単元 学習
共有 テーマ学習	6月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> 交流校との共通テーマについて、インターネットで調べ学習を行う。 日本に住むロシアの方に来校してもらい、ロシアの文化について講座を開いてもらった。 	環境という幅広いテーマの中から、自分たちが興味のある課題を決め、取り組んだ。ロシア人の方から話を聞くことで、現地の生活を具体的にイメージでき、さらに興味をもつようになった。	総合 生活単元 学習
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画のテーマを友達と相談して決め、交流校に提案。 交流校の意見も聞き、メッセージを決定。 	壁画のテーマというと漠然としていたが、理想の自然について意見を出そうと提案すると、たくさんの意見を出すことができた。	総合 生活単元 学習
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> テーマをもとにイメージ画を教師と共に描く。 専用絵の具でキャンバスに色を塗る。 ロシアに送る年賀状を作成する。 	あれほど大きなキャンバスに絵を描く活動はやったことがない生徒が多く、とても楽しんで描いていた。ロシアに日本の文化を伝えたいという生徒の思いから年賀状を作成した。	総合 生活単元 学習
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> ロシアから送られてきた壁画を鑑賞する際、Skypeで交流をする。 校内の目立つところに掲示し、全校生徒が観賞できるようにした。 	Skypeでロシアとつながることで、交流している実感をもつことができ、またSkypeで話をしたいという声が多く挙がった。	総合 生活単元 学習

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	壁画のテーマを決める時や、ロシアに日本を感じる贈り物を考える際、「日本といえば・・・」と生活を振り返ったり、自ら調べたりしていたから。
異文化を理解する力	4	ロシアの方から話を聞いた際、ロシアの文化について日本との違い、反対に共通点についても見つけることができたから。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	生徒のみで情報を集約することが難しかったから。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	英語でのスムーズなやりとりは難しかったが、Skypeをする際、ロシア語で挨拶をしたいと言って、ロシア語を調べたりしていたから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	思考を深める時間をあまり設けられなかったから。
主体的に考え行動する力	2	生徒が主体となって取り組むには、プロジェクトの内容と生徒の実態が合わない部分があったから。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	学習や壁画のテーマを決めたり、自己紹介のやり方を決めたりする際、友達同士で話し合っ、生徒だけで結論を出すことができていたから。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	生徒と教師と一緒に活動した部分だから。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	ロシアの友達が描いてくれた絵に対して、共感や疑問をもちながら鑑賞している生徒が多かったから。